

平成23年度第2回OPRTセミナー

「どうなる中西部太平洋・北太平洋まぐろ資源」

科学委員会の最新報告―クロマグロ・メバチ・キハダ・カツオそしてビンナガ

OPRT((社) 責任あるまぐろ漁業推進機構) は、今年度第2回OPRTセミナーを下記のとおり開催します。

【セミナー開催趣旨】

太平洋は、世界のカツオ・マグロ漁獲量の60%以上を占める重要漁場である。

この海域の資源の衰退は、そのまま、日本の刺身市場に影響を及ぼす。近年、資源の回復を目指して、資源管理機関による厳しい漁獲規制が実施されている。本年9月6～9日に開催されたWCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)北委員会では、赤道付近のまき網漁船の増加によるキハダ、メバチ、カツオへの影響をめぐって議論され、12月開催の本委員会へ、まき網による漁獲死亡削減措置を勧告することとなったことも報告されている。

今、太平洋のマグロ・カツオ資源はどんな状態なのか? 最近、手ごろな価格の刺身として、人気のビンチョウマグロは、大丈夫なのか?

WCPFC及びISC(国際科学委員会:北太平洋まぐろ類を対象とする)の科学委員会に出席し、委員会の勧告検討にも加わった三宅眞氏に、最新の資源状況について伺う。

記

1. 日時 : 平成23年10月20日(木)14:00～15:30 (開場 13:30)
2. 場所 : 大日本水産会 大会議室
3. 講師 : 三宅 眞 農学博士(東京大学)
元 ICCAT(大西洋まぐろ類保存委員会)事務局次長
現在 水産総合研究センター国際水産資源研究所客員研究員

(問合せ先)
(社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
事務局長: 田端 事業部長: 人見
TEL: 03-3568-6388
FAX: 03-3568-6389